

恒例のボーリング大会
優勝は花谷さん(丸楽紙業)



総合優勝の花谷政幸さん(左)と加賀理事長

近畿印刷産業機材協同組合は2月7日(土)、イーグルボウル新大阪において恒例の「ボーリング大会」を開催。組合員企業の従業員ら43名が参加し、汗を流した。

同イベントは、組合運営の柱である「親睦」を目的に開催されている恒例行事。ゲームはスクラッチによる3ゲームトータルでスコアを競い合った。

結果、総合優勝は花谷政幸さん(丸楽紙業株、トータル571)で、女性1位は田邊優

子さん(株加貫ローラ製作所、トータル542)、ハイゲームは勇元真二さん(株加貫ローラ製作所、212)となった。

枚方国際ゴルフ倶楽部でコンペ
優勝は吉川さん(吉川機械器具)

組合員交流の場として恒例の「ゴルフコンペ」が4月4日(土)、枚方国際ゴルフ倶楽部において開催され、20名が参加した。

競技方法はダブルベリア。優勝は吉川機械器具株の吉川悦正氏(OUT:46、IN:47、GROSS:93、HDCP:22.8、NET:70.2)で、ベストグロス85で(株)ジェビックの大濱保氏。



ゴルフコンペ優勝の吉川さん

KPMA若生会が主催
「補助金事業説明会」開催

近畿印刷産業機材協同組合員企業の若手経営者らが中心となって組織するKPMA若生会(木田庄一郎会長)主催による「補助金事業説明会」が6月12日、リーガロイヤルホテルで開催され、およそ27名が参加した。

今回は、親会である近畿印刷産業機材協同組合との共催という形で開催されたもので、前年度の「ものづくり・サービス補助金」採択案件の中で、多くの採択を勝ち取り全国2位の実績を誇る支援機関の(株)エフアンドエムから経営サポート事業本部の鈴木一史氏を講師に招き、当初「おそらく夏に2次公募がある」とされていた「ものづくり・サービス補助金」について、その仕組みや申請からの流れ、書類作成上のポイントなどについて学んだ。

印刷技術の豊かな価値
JP2015
情報・印刷産業展

JP2015情報・印刷産業展(主催/JP産業展協会、西井幾雄会長)が5月14日から16日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪5号館で開催され、およそ2万5,000名が来場した。

39回目を迎えた今回のJP展はダブルテーマを設定。開催テーマを「ものづくり大阪・生活を彩る印刷技術」、また出展ブーステーマを「収益に転嫁できる付加価値づくり」とし、88社・235小間の規模で開催された。

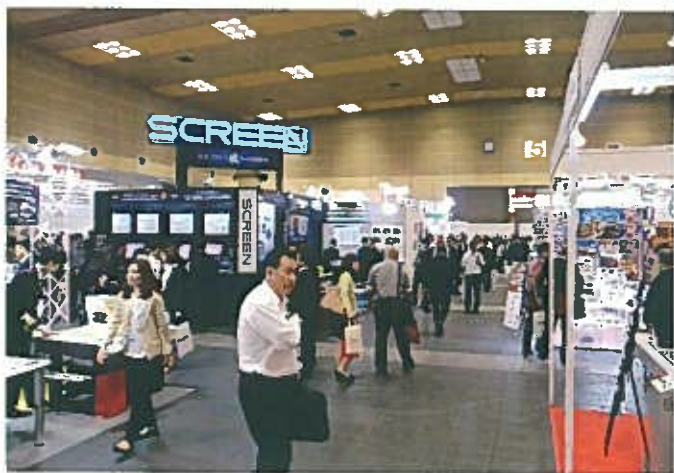
会場では「付加価値づくり」の具体的な手法・仕掛けづくりが提示された他、後継者育成・事業継承や販促マーケティングをテーマとしたセミナーも開催された。

14日午前10時からの開会式の席上、主催者を代表して挨拶に立った西井会長は、JP展の開催意義について「印刷業

ものづくり大阪 生活を彩る印刷技術
3日間で2万5,000名が来場

界の流れを肌で感じることでできる展示会は、非常に意義のあるものだと考えている。展示会も一極集中の傾向にあるが、今後も出展各社から最新の技術やノウハウを提供してもらい、JP展を西日本最大の展示会として意義あるものにしていきたい」との考えを述べる一方、来場者には「出展ブーステーマにもあるとおり、利益に「転嫁」できるものを展示会の中で探して欲しい」と呼び掛けた。

近畿経済産業局産業部の戸田美和部



長から祝辞が述べられた後、テープカットで華々しく開幕。開会式の出席者はそのまま目的のブースに足を運び、会場は開幕直後から多数の来場者で賑わった。